

小田原北條氏康の祖父軍雲老の昔年伊勢のふもと僅の
くさつし友達四五人順禮の如く出立て武者修行よ
思立關東より海上杉と追拂ひ今時の伊豆相模よ
限る八州の統流とすものこゝ安らぬ事なりと
いふに義光幼少も關入めいあるや父義守公
より弟暇乞なり身迫き宇都のへく僅二三人と被仰合
諸王武者修行をもよ一夜の間思ひまのへくお人
まゝ無つたり乳姫の侍従の阿國章にて被仰けり
殊にまゝ書きつゝ義守公被て見もの其まゝ

吾郷の清和の流は建る弓馬の家は生れ慈父の恩澤を
蒙り為人既二八歳の春秋を過きあり武勇の徳を
施され侍は先祖の跡をたゞし事歎き悲しむ飽なら
ず依之天皇街道は懸り大石田より庄内より北陸道
を経て諸國行脚し名所四跡古戦場とも見物し人間の
運命地形の演難とも計ひ見ゆらん為先つ七年の内暇
むけりゆくりと有りしや義是並而中館山王権
現へり誓し〜曰我成長〜て家名の譽と違ひ孝
義忠信たる〜一七日の内は奇蹟の不思議と視せり